

JA バンク補助教材（平成 27 年度版）改訂の主なポイント

1 総括

平成 27 年度版については、「次の世代につなげる」「未来につなげる」を構成変更したほか、データ数値や写真の更新、デザインの微調整などの改訂を実施した。また、副読本の内容を補完し、併用して活用できる DVD を新たに作成した。

2 主な具体的変更点など

<児童用>

(1) 表紙（表・裏）：

色の変更（オレンジからライトグリーン）など連続性を維持しながらも新年度版であることが一目で判別できるよう、変更した。

(2) 単元⑰ 次の世代につなげる

タイトルを変更し、農業で働く人を守り、つなげていくための事例紹介を追加するなど改訂した。

○農業で働く人を応援する取り組み

地域や農業を応援する大学生を中心としたグループを取り上げ、農業について幼稚園や小学校で教えたり、被災した農家を助けたりといった活動について紹介した。

○福島県の酪農家が共同で経営する「復興牧場」

東日本大震災に伴う原発事故の被害を受けた福島県の酪農家が、避難先で「復興牧場」をつくり、大規模な施設の共同経営を目指す取り組みを紹介した。

(3) 単元⑲ 未来につなげる

タイトルを変更し、農業を今後さらに発展させるための事例紹介を加えた。

○地域ならではの伝統野菜づくり

各地域で古くから生産されてきた伝統野菜が見直され、地域の活性化につながる産業として注目されていることを紹介した。

○生産から加工・販売までの取り組み

柿の葉をつかったお茶やミニトマトを加工した食品など、6次産業化が全国で広まっていることを紹介した。

○海外で評価の高い「Made In Japan」の農産物

果物や牛肉など、日本の農産物の人気海外で高まっている現状を紹介した。

<DVD>

副読本の内容を補完し、併用して活用できる DVD を新たに作成した。生産現場での営みをハイビジョン映像で届けることで、臨場感が伝わる内容になっている。

○構成

1. わたしたちの暮らしと農業のかかわり
2. 米ができるまで
3. 野菜ができるまで
4. 果物をつくる
5. 牛を育てる
6. 農産物がとどくまでにかかる費用

以上